



瀬戸内海航路の変遷 : 昭和47年（1972年）の状況

溝下, 和裕

(Citation)

海事博物館研究年報, 53:23-27

(Issue Date)

2026-03-31

(Resource Type)

departmental bulletin paper

(Version)

Version of Record

(JaLCD0I)

<https://doi.org/10.24546/0100504879>

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/0100504879>



瀬戸内海航路の変遷 昭和47年（1972年）の状況

神戸大学海事博物館 特別専門員 溝 下 和 裕

1. 緒言

昨年、後期高齢者となり自宅の史料をそろそろ整理しようとした所、大学4年生の時に某社から依頼されアルバイトとして調査した

「瀬戸内海旅客船の実情調査に関する報告」というファイルが見つかりました。

古代より交通の大動脈であった瀬戸内海は現在多くの橋梁が掛り海上交通の様子はすっかり様変わりしました。市民の生活・観光・通勤の足として活躍した多数の旅客船は、その多くが役目を終えて姿を消しました。

1985年 大鳴門橋（鳴門海峡）

1988年 瀬戸大橋（備讃瀬戸）

1998年 明石海峡大橋（明石海峡）

1999年 しまなみ海道架橋

他にも西瀬戸自動車道架橋や安芸灘とびしま海道架橋が完成し、多くの離島にも架橋が行われました。

島の定義にもよりますが瀬戸内海には約3000もの島があり、岩礁も含めると約7000以上と言われています。このすべてに橋が架かる事は不可能なため、今でも多くの渡船が運航されています。今日物流の主役が自動車に代わり、その自動車を運ぶフェリーが瀬戸内海航路の主役になっています。架橋が無かった時代の航路の記録と現在の状況を比較する事も海上交通の歴史資料となればと思いいこの記事を投稿しました。

当時の報告書は全て手書きで現在のようにネットで検索という手段もなく、基本当時の「時刻表」を主に調査しました。よって正誤不確かなものもあるかと思いますが、あえてそのままを記述しました。

2. 報告書の転載

「瀬戸内海旅客船の実情調査に関する報告」

- ① 使用船舶の現状
- ② 航路の現状
- ③ 運航会社の現状
- ④ 水中翼船・高速艇一覧
- ⑤ 新造船舶及び新設航路
- ⑥ 考察（手元ファイルには記載なし）

依頼側よりの命題

目的；瀬戸内海の船舶による旅客運送の実情使用船舶を調査し、その将来の動向を推定する。

調査事項

瀬戸内海周辺の旅客船航路を持つ会社名

旅客船航路と主要寄港地

主要港間の距離、所要時間、運賃

各航路の一日当りの便数

使用船舶の種類

総トン数、旅客定員、主機馬力、常用速力

建造造船所、建造年

もし可能ならば、平均乗船率

調査方法

- (1) 日本旅客船協会で上記項目の内、入手し得るもの
- (2) 運輸省海運局についても同上項目調査
- (3) 船舶明細書、雑誌「旅客船」等により就航中の旅客船のデータを取り出す
- (4) 時刻表・旅行案内書等により運行回数所用時間等を調査する
- (5) 海図より各航路の距離を実測する
- (6) 上記方法にて資料の得られなかった航路に関しては直接現地に赴き資料を得る
- (7) 運輸白書、国勢統計等により旅客輸送の変動を調査する

参考資料

船舶明細書、雑誌「旅客船」、運輸白書、海

運局統計、国勢統計、時刻表、フェリー時刻表、各地ガイドブック、関係海図、航路事業現況表（定期・不定期）

整理方法

前記項目を、トン数別隻数、船齢別隻数、速力別隻数、主要航路毎の便数輸送能力等に整理するほか、

各航路をその性質により分類し、各航路に使用中の船舶の特色をとらえる

以下 報告書の記載

* 前記 *

前記の調査方法に基づいて可能な限り調査したが、どうしても現地へ直接赴かねば資料の得られぬ所が少なからずある。この分はデスクワークでは如何ともしがたく、やむなく空白にしておいた。

まとめるに当たり表題に示した①～⑥の項目に分けて下記のような方法で分類集計した。

1. 交通公社発行の時刻表により、瀬戸内海の主な航路に関し、記載されているものを別紙資料のように抜き出した。
2. 旅客（定期・不定期・特別）自動車航走貨物定期航路事業現況表により、本省取扱及び地方海運局取扱の近畿・神戸・四国・中国の各海運局付き航路及び船舶、又、日本船舶明細書、雑誌「旅客船」、ボートエンジニアリング、関西造船協会誌等より航行船舶をパンチカードに書きぬいた。（※パンチカードについては現存せず）
3. パンチカードを別紙見本のように分類した。
4. 2. の抜き出した船舶は、20GT 以上とした。
5. パンチカードにより①～⑥の別に分類集計した。
6. 水中翼船・高速艇に関しては別に一覧表を作った。
7. 新設予定航路⑥の内、すでに就航しているもの。

以上の手順で調査したが、資料集め、パンチカード作り、その他様々な問題が多数生じ非常に集計が遅れた事を深くお詫びします。

① 使用船舶の現状

現在瀬戸内海を航行していると考えられる、フェリー、旅客船等の内、20GT 以上の船舶のみ

について分類集計した。

各船舶の詳細についてはパンチカードにより参照されたい。（※パンチカードは現存せず）

- 1) 船齢は必ずしも実齢ではなく、昭和47年度に造られたものを0として、各建造年により決めた。
- 2) 船齢－隻数、GT－隻数との総計が異なるのは船齢不明なものがあるからである。
- 3) 自動車航送船とは、自動車（自転車、原付）を乗せる船で旅客を乗せるものも、載せないものも含む。
- 4) 旅客船には貨客船も含む。

① -- (イ) 船齢－隻数

船齢	建造年	隻数	船齢	建造年	隻数
0～1	S47	10	9～10	S38	37
1～2	S46	14	10～11	S37	29
2～3	S45	33	11～12	S36	29
3～4	S44	47	12～13	S35	27
4～5	S43	35	13～16	S32-34	41
5～6	S42	27	16～21	S27-31	31
6～7	S41	25	21以上	S26以前	30
7～8	S40	36			
8～9	S39	38	合計		489

① -- (ロ) 総トン数－隻数

総トン数	隻数	総トン数	隻数
0～100	184	700～800	3
100～200	128	800～900	3
200～300	26	900～1000	15
300～400	24	1000～5000	48
400～500	31	5000～10000	7
500～600	10	10000以上	0
600～700	13	合計	492

① -- (ハ) 船種別

船 種	隻 数	%
客 船	234	47.4
自動車航送船	236	47.8
水中翼船	18	3.65
高速艇	5	1.15

註)：客船とは貨客船を含む

：自動車航送船には旅客運送を兼ねるものも含む

：その他ホーバークラフトも1～2隻就航予定

② 航路の現状

就航航路を、イ) 距離別－フェリー航路

旅客航路

ロ) 所用時間別

ハ) 性格別

ニ) 航路別一覧表

に集計した。

1) 所用時間で不明なものは航路距離を就航船舶の航海速力で割ったものとした。

2) 就航船舶は多少の違いが生ずる事がある。

3) 同一航路で

航路距離が異なるもの－寄港地が異なる。

所要時間の異なるもの－船の速力が異なる。

ものがあるため。

4) 1日便数は、片方の港での1日の運行回数で他方の港から同時に出る場合もある。

5) ハ) に於いて同一航路で各種性格をもつもの

例えば、尾道⇄今治間等では観光・生活・連絡の各要素を持つが複雑なため分類不可とした。

PS；ニ) では関西汽船航路を別扱いとしたがイ)、ロ) での航路数では別扱いせずを含めた。

イ) 航路距離－航路数（航路性格別）

i) 自動車航送航路

航路距離	航路数	航路距離	航路数
0～10km	31	80～90	0
10～20	24	90～100	0
20～30	14	100～200	7
30～40	9	200～400	2
40～50	4	400k m以上	5
50～60	4		
60～70	4		
70～80	0	合計	99

ii) 観光・生活・連絡 その他の航路

航路距離	航路数	航路距離	航路数
0～10km	28	70～80	3
10～20	33	80～90	2
20～30	20	90～100	3
30～40	10	100～200	7
40～50	7	200～400	2
50～60	5	400k m以上	5
60～70	8	合計	133

註1；但し上記分類航路の内、始点と終点が同じでも途中の寄港地が異なる場合もあるが、その場合も同一航路とした。

註2；ロ)、ハ) は円グラフ化されているが、本編では割愛した。

註3；ニ) は表記のため末尾に集約した。

③ 運航会社の現状

イ) 所有隻数－会社数

隻数	会社数	隻数	会社数	隻数	会社数
1	47	13	0	25	0
2	37	14	1	26	0
3	21	15	1	27	0
4	13	16	0	28	0
5	7	17	0	29	0
6	7	18	0	30	1
7	2	19	0	31	0
8	4	20	0	32	1
9	1	21	0	33	0
10	2	22	0	34以上	0
11	2	23	0		
12	0	24	0	合計	147

ロ) 所有トン数－会社数

所有トン数	会社数	所有トン数	会社数
0～100T 未満	42	900～1000	1
100～200	30	1000～1500	6
200～300	10	1500～2000	5
300～400	7	2000～3000	5
400～500	4	3000～4000	5
500～600	7	4000～5000	3
600～700	5	5000～10000	7
700～800	3	10000T 以上	5
800～900	2	計	147

ハ) 会社一覧
別頁に示す。

④ 水中翼船・高速艇 一覧

瀬戸内海を航行している水中翼船・高速艇を、

イ) 年度別隻数の変化

ロ) 一覧表として、分類・集計した。

※ 1) ; 瀬戸内海汽船、両備運輸の高速艇に関しては資料が入らず不明

※ 2) ; 水中翼船の中には現在売却又は係船して稼動していないものや所有会社の変更されたものもある。

※ 3) ; 材質の記号はパンチカードの記号と同じ

(パンチカードは現存せず)

追記

I 水中翼船・高速艇運賃状況表

現状の各航路運賃状況を並列在来船と比較円 /km、円・時、は比較する目安とするので後に、円 /km－航路距離

円・時－航行船舶速力

の、グラフを記載 (グラフは省略)

II 水中翼船・高速艇 (主として高速艇)

就航可能予想航路表

瀬戸内海で今後設置されるであろう、又設置可能な航路を Pick up し在来船と比較、また、その選出利点、理由を加えた。

3. 報告書記載の各表

② 表-1~30 航路の現状 (1972年)

③ 運航会社の現状 (1972年)

④ 表-1~3 水中翼船・高速艇一覧

⑤ 表-1~2 新造船隻及び新設航路

上記各表はページが多いため、紙面の関係上一例を巻末に掲載し資料データは海事博物館に保存し、必要に応じ閲覧可能としました。

4. 結言

② 航路の現状 (1972年) では、凡そ230航路があり個人船主の乗船時間が数分の航路もあれば大型フェリーや観光地を結ぶ客船航路もあり多彩な航路で船舶が行き交っていました。人が住む離島では本土と島を結ぶ渡船は生活に不可欠なインフラでした。

③ 運航会社の現状 (1972年) を見れば、現在 (2026年) ではその約半数が廃業もしくは業種変更を余儀なくされています。架橋が進み観光の上では市民の足が伸び、大きな経済効果が生まれた島もあれば、単に橋桁になった島もあります。しかし架橋がされない島もまだ多くあり島民の生活には島渡しの通船は欠かせないインフラでこれからも必要不可欠な存在です。ただ小規模な通船会社では維持費、後継者、島民の数等継続困難な課題も多く、将来不透明です。

⑤ 一方大型フェリーは近年リプレースが進み客船並みの設備を備え、大型トラック輸送も運転者は乗船せず貨物コンテナのみの搭載でドライバーの負担軽減が進んでいます。観光客にもちょっとした船旅気分が味わえ人気となっていてハイシーズンには予約が困難なくらいです。

今回のレポートに対し、当然現在の瀬戸内海航路の現状を調査する必要があります。1972年当時と違い、現在ではネット環境が充実し大変調べやすくなっています。例えば「おでかけ航路マップ」というサイトで日本の現況航路を一覧できます。

C-1

航路内海	航路一覧	航路距離		0 km ~		10 km		備考
		航路性格		運賃(Y)	所用時間 (分)	距離 (km)		
		輸送能力 人/日	旅客					
航路	運航社 就航船舶	同左定員 人	1日便数	運賃(Y) 旅客のみ				
羽石⇔若尾	日本道路公団							
	あさしお丸	288						
	あさかぜ丸	248	21	約 5000		25		9.3
	第2あさしお丸	250						
	第2あさざり丸	250						
亀浦⇔阿部賀	淡路フェリー							
	うずしほ丸	350						
	なるしほ丸	350	36	約 15000	80	18		7.0
	ときしほ丸	500						
今治⇔下田水	島崎汽船							
	いとこやま	200	26					
	たてやま	200	(4~9月)	約5500	60	25		6.5
	ひうち	250	27					
尾道⇔向島	堀本 豊							
	第10小浦丸	100	5:30~22:00					
	第11小浦丸	95	堀本に運航	約 10000	5	5		0.25
	第12小浦丸	100	約100					
	公営尾道向島運航							
	第8公営丸	310	4:30~23:50					
	第10公営丸	106	堀本に運航	約 40000	10	3		0.25
尾道(新浜) ⇔向島(有井)	山根久司		6:50~23:50					
			堀本に運航		10	5		0.6
尾道駅前⇔宮浜	向島運航							
	第13向島丸	100						
	第20向島丸	200				5		0.65
	第23向島丸	177						
尾道(吉和) ⇔向島(大浜)	向島運航							
	第25向島丸	80						
	第28向島丸	94	22	約 2300	80	20		4.2
	第30向島丸	150						
尾道⇔厚の土	岸本謙市							
	第5岸本丸	88						
	第7岸本丸	125	約100	約 10000	10	5		0.38
	第10岸本丸	93						
尾道⇔加島	備後渡船							
	やしろう	154				18		7.5
岩前⇔草崎	備後渡船							
			29		30	7		1.4

— 22 —

船戸内海		船港別一覧		船路距離		km ~		km	
関西汽船関係		船路性格		船路性格		船路性格		船路性格	
航路	運航社	同左定員 人	1日便数	輸送能力 人/日	運賃(円) 旅客のみ	所用時間 (分)	距離 (km)	備考	
	就航船舶								
神戸○京府	あいぼり丸	1280	11		1580	850	441.0	Car.	
	こぼると丸	1280							
	ずみれ丸	1082							
	こはく丸	1198							
	くれない丸	1166							
	むらさき丸	1070							
	ゆふ	1200							
	まや	1200							
	ふたば丸	805							
わかば丸	805								
阪神○京島○京府 ○高松○阪神	にしき丸	917	不定期				447.0	臨時	
	さくら丸	570							
	ひかり丸	575							
阪神○姫島	わかば丸	805	不定期				505.0	臨時	
	ふたば丸	805							
	太平丸	502							
阪神○小倉	さくら丸	570					513.0		
	あけぼの丸	567							
	あかね丸	566							
	太平丸	502							
阪神○香花(有隣)	浮島丸	624	6/月				1328.0		
	津ノ島丸	873							
丸亀○下津井	まるがめ丸	400	16	約 10000	180	50	19.0		
	しもつ丸	850							
高松○土庄	ふえにっくす丸	730				55	21.0		
	おりいぶ丸	370							
宇野○土庄	おりいぶ丸	370				65	26.0	臨時	
高松○高松	あかね丸	566				80	30.0	臨時	
	あけぼの丸	567							
	さくら丸	570							
岡本○深日	たんしょう丸	515	5	約 2500	250	85	33.0	PL	
	はやて 2	71							
高岡○京島	ふたば丸	805	不定期			90	42.0	臨時	
阪神○洲本	あわじ丸	570	6	約 3500	350	110	65.0		
	ずもと丸	571							
	ふたば丸	805							
	はやて 2	71							
阪神○多度津 姫路○高松	さくら丸	570	不定期					臨時	
	はやて 1	71	6	420	1750	88	PL		
	はやて 2	71							
	ふえにっくす丸	730							

數	合計件數		
---	------	--	--

	会社名	隻数	合計トン数	会社名	隻数	合計トン数	会社名	隻数	合計トン数
A	阿波汽船	14	9014.94	K 加路汽船	4	1392.03	R 両海運船	7	1222.71
	阿波運輸汽船	7	576.44	呉船山汽船	4	1392.7	S 瀬戸内海汽船	30	約 9000
	淡路運輸汽船	4	548.91	北内汽船	4	253.46	西國汽船	11	6251.21
	阿万田島汽船	4	164.91	共同汽船	3	3297.94	山崎運輸	8	1218.87
	安房汽船	3	732.96	協和汽船	3	558.39	小笠原急行汽船	6	1644.94
	安房太平洋汽船	2	199.13	舩生運送	3	2659.72	西国汽船	4	581.28
	磐城海運	1	41.47	公営理道船汽船	3	258.88	平太汽船	3	89.07
B	伊豆汽船	15	4631.22	磐井運送	3	173.46	平太海運	3	162.28
	伊豆海運	6	369.00	霞浦汽船	2	307.93	昭陽中央汽船	2	1891.2
	伊豆運輸汽船	6	739.60	足利汽船	2	398.62	足利美航送船	2	1960.24
	伊勢汽船	2	233.83	甲子汽船	2	62.35	昭陽海運	2	855.79
	清瀬汽船	1	156.78	小笠原汽船	2	133.93	越前海運	2	170.13
C	D (デイトナ)汽船	3	12797.16	小笠原汽船	2	350.77	昭陽海運	3	817.68
D	東横汽船	3	1948.55	河本汽船	2	191.47	佐佐木重雄船山	1	134.59
E	東横汽船	4	851.24	紀島海運	1	173.27	住友汽船	1	99.00
F	福本海運	1		九州汽船	1	983.66	下津海運船	1	70.76
G	高橋海運	6	1187.81	京神海運	1	441.87	瀬戸田海運	1	64.67
H	松島内海汽船	5	269.48	北米汽船	1	35.02	瀬戸田航汽	1	34.93
	松島汽船	4	2303.48	甲子海運船	4	723.00	津海汽船	1	68.09
	関本 豊	3	295.53				三洋汽船	12	3489.25
	関船(関汽船)	2	2246.00	M 青島松大観光船	8	463.34	自然史方船	3	1488.75
	関船(関汽船)	2	>10000	三浦航汽船	5	556.82	海運船汽船	3	147.75
	はろちい汽船	2	125.61	マルム汽船	3	161.04	太田海運	2	92.47
	藤井静一	2	128.16	笠戸汽船	2	645.23	海運船	2	77.19
	浜本汽船	2	58.74	豊本汽船	2	130.73	田島海運	2	55.20
	日渡一三	2	46.96	雄達汽船	2	121.00	大正汽船	2	77.19
	土倉海運	2	245.47	伯島運航	6	99.57	大和汽船	1	82.84
	本木武重	2	208.12	保元一美	1	27.80	つばめ航運社	1	63.74
	広島汽船	1	1622.08	松浦幸成	1	58.69	豊野町	1	42.22
	本島汽船	1	41.23	三島中谷留汽船	?	?	森崎成二	1	31.78
	北来市	1	22.54	三友海運	1	103.43	U 宇高海運船	9	8701.00
	船研社	1	68.28	N 日本通商公同	8	3181.26	宇和島汽船	6	4297.07
	船研社	1	196.99	南海汽船	6	6346.00	上杉行運	3	337.14
	船研海航	1	41.07	中島町	6	748.15	内海町	2	119.67
I	石川汽船	10	2357.24	松葉島	4	642.67	西海汽船	1	602.70
	岡島汽船	5	467.78	日本汽船	4	23822.00	島集村	2	103.81
	東島汽船	4	576.36	新船町市	2	58.88	上関町	2	76.46
	因東海航	4	158.75	沼島汽船	2	63.40	中島海運	1	52.06
	因島海運	3	42.56	日本通運	1	2663.34	V		
	今治大島汽船	3	209.36	豊洲上野海運船	1	489.58	W		
	石川汽船	3	143.54	野島海運	1	102.17	X		
	池本汽船	3	126.84	内海汽船	1	59.17	Y 勇利汽船	5	7
	関船汽船	2	320.57	長瀬汽船	1	46.51	山本 恒	3	198.98
	関船市	2	216.86	長島運送	1	43.28	香海町	1	31.91
	生衣村	2	134.04	島崎町	1	22.62	船城市平	1	22.62
	飯倉海運	1	29.43	O 大阪航路送船KK	5	2470.43	山崎正光	1	25.99
	今村海山	1	34.67	大三島汽船	3	344.75	Z		
	石山正一	1	28.32	大津島汽船	3	124.68	佐島汽船	1	61.95
	石川内伝一	1	20.00	大府高知汽船	2	2008.80	佐佐島行汽船	1	3350.00
				大崎汽船	1	135.51			
J	河内汽船	32	50677.00	兵庫商船株式会社	1	124.50	現在(2026)も運航中		
	加路汽船	5	7815.83	大宮運送	1	49.68	豊盛運送(会社存続)		公益、個人乗客の
	世田谷船	5	200.00	PO			運送船(又は廃業)		発航は不明

水中置船 目:

航路 (航路距離) km	運航会社	船名	PL PL or H	水中航行 常用速力 kt	PL 分	送船 運賃 円	円/km	時間x円
平野⇄土庄 (26.0)	小豆島 金行マリ-	はやぶさ	H	23.5	39	510	19.6	297.5
岡山⇄土庄 (25.8)	岡信運輸		H		40	550	21.3	366.7
宇品⇄三津浜 (57.6)	瀬戸内海 汽船	おとり2号	PL	35.0	70			
	石崎汽船	光星 金星 つばき	PL PL PL	35.0	65			
三津浜⇄柳井 (56.1)	防予汽船	しぶき しぶき2号	PL PL	32.0	60			
九亀⇄熊山 (47.0)	三洋汽船	ハルマ-2号 ゴ-ホド-2号	H H	23.8 23.8	70			
三原⇄今治 (38.0)	瀬戸内海 汽船		H		55	1000	26.3	916.7
阪神⇄姫松 (148.0)	関西汽船	はやかぜ はやて1	PL PL	32.4 32.4	140	2560	17.3	5973.3
阪神⇄洲本 (65.0)	関西汽船	はやて1 はやて2	PL PL	32.4 32.4	55	1180	18.2	1081.7
神戸⇄亀瀬 (78.3)	阪急内海 汽船	かすがの あまつ	PL PL	36.0 35.0	100			
尾道⇄今治 (48.0)	瀬戸内海 汽船	わかしお おとり ひびき ひびき2号	PL PL PL PL	33.0 35.0 35.0 35.0	65	1480	30.8	1603.3
尾道⇄土生 (19.0)	因島船舶	第3ちどり 第5ちどり ちどり ちどり2号 ちどり3号	H PL PL H H PL	27.0 27.0 27.0 27.0 27.0	55 30 30			
尾道⇄三津浜 (92.7)	石崎汽船	明星	PL	35.0	85			
尾道⇄高浜 (90.0)	石崎汽船	晴光	H	21.5	150			